

(参考資料)

市民協働会議における

検討過程

平成 21 年 11 月

能代市総合計画市民協働会議

能代市総合計画市民協働会議では、まちづくりの評価及び提案を検討するにあたり、ロジックモデルを活用したワークショップの手法により、各主体の活動実態の点検作業を行いました。
その検討過程は、以下のとおりです。

政策1 (1) コミュニティで支え合う特色ある地域づくり

担い手・役割(資金・資源)	指標をめぐる活動・動き(意識)	新たな取組・より良い取組	めざす姿や状態、指標の推移
<ul style="list-style-type: none"> ○町内活動活かす ○自治会のコミュニケーションの場 ◎自治会・町内会活動 ○子供会 ○PTA ○学校及び保育所等の母の会 	<ul style="list-style-type: none"> ○地域の活動少ない ○人間形成の最も大切であたりまえの事をしっかりと学ぶことを認識し幼児教育を位置づける ○市民にボランティア活動が以前より理解されるようになった ○自治会によって取り組む意識に差がある 	<ul style="list-style-type: none"> ○シルバー人材センター・登録内容、安くていい仕事 ○幼児教育は保護者、教員が一体となって取り組んでいく ◎年間計画に組み入れないのか(老人会・子供会) ○話し合いを持つ(子ども会・老人クラブ) ○クリーンアップ作戦(中・高校生へ) ○中心市街地問題点を協議、新しい提案をしていく ○自治会と中・高校生とのボランティア活動 ○子どもと大人のボランティア活動を年間計画で実施 ○高齢化社会に対する対応として見守り活動を積極的に進める 	<ul style="list-style-type: none"> ○ボランティアなどの活動をしやすい環境があり、情報や目標を共有できて交流や連携が進むこと。 ○自治会や町内会などの活動が活発になり、地域の課題解決や、地域資源を活かした身近なまちづくりにつながる。 ○普段から地域で交流や協力、支え合いがあり、地域コミュニティが良好であること。
<ul style="list-style-type: none"> ○老人クラブ ○婦人会 ○高校生ボランティア ○図書館ボランティア ○風の松原案内ボランティア ○NPO ○地区の里づくり協議会 	<ul style="list-style-type: none"> ○若い老人の加入がない ○婦人会に入る人がいない、入りたがらない 	<ul style="list-style-type: none"> ○中高生の社会参加、大人とふれ合うことにより今後社会に出たときスムーズにとけ合うことが出来る ○意識改革 ○協議会活発 ○受け皿とボランティアセンターの充実とPR ◎リーダーづくり、活発な町内等と交流する 	

政策1 (2) 学び合い高め合って地域に活かす生涯学習

担い手・役割(資金・資源)	指標をめぐる活動・動き(意識)	新たな取組・より良い取組	めざす姿や状態、指標の推移
<ul style="list-style-type: none"> ○自治会活動 ○地域連合会の活動 	<ul style="list-style-type: none"> ○仲間意識が高く活発である ○子供七夕は伝えられている 	<ul style="list-style-type: none"> ○公民館事業の配付 ○公民館事業の周知方法 ○若い人が来られる夜の時間の事業 	<ul style="list-style-type: none"> ○学べる機会があり、学んだ知識や技能、技術が、地域や社会に活かせること。 ○体験学習などを通じて、親子や地域住民の交流が深まり、人づくりや地域づくりにつながること。
<ul style="list-style-type: none"> ○自治会の活動を通して人と人との和を結ぶことが出来る ○中川原地区「守り隊」活動している ○市民プラザ ○退職された先生 ○青少年健全育成関係機関との連携 ○老人パワー、グランドゴルフ月2回 	<ul style="list-style-type: none"> ○環境作りのため草刈り、公園等 	<ul style="list-style-type: none"> ○仕事と家庭のためになかなか参加できない ○各種の公民館の講座 	
		<ul style="list-style-type: none"> ○地域のための市民学校 	

政策1（3）地域で育み社会で支える子育て・子ども支援

担い手・役割(資金・資源)	指標をめぐる活動・動き(意識)	新たな取組・より良い取組	めざす姿や状態、指標の推移
<ul style="list-style-type: none"> ◎地域の学校 ◎PTA ◎地域住民 	<ul style="list-style-type: none"> ○図書館での読み聞かせ、月1回 ○保育所での映写 ○子ども館見学学び ○子どもを地域で支える組織作りを進める 	<ul style="list-style-type: none"> ○子育てサークル情報、悩みの共有、コミュニケーション ○常盤地区にも学童保育があれば各家庭の負担が軽くなるのでは… ○母子家庭になり、自立して子供を育てたい、と意欲はあるものの安定した仕事に就くことができなく困っている(30代前半) ◎子どもと高齢者の交流活動を計画的に実施する ◎地域が学校との交流を深める ○子育てと仕事の両立支援 	<ul style="list-style-type: none"> ○安心して子育てができ、子育てに喜びを感じられること。 ○地域や社会で子どもを守り育てる意識が浸透し、子育てを支え合えること。 ○地域住民と子どもの交流があり、子どもが心身ともに元気で健やかに成長すること。
<ul style="list-style-type: none"> ○企業が地域貢献 	<ul style="list-style-type: none"> ○有給休暇が取りやすい ○ファミリーフレンド企業 	<ul style="list-style-type: none"> ○親子で花壇づくり ○クリーンアップ作戦 ○地域で夏休みラジオ体操を行う ○子ども祭り 	
<ul style="list-style-type: none"> ○保育所母の会 ○紙芝居(図書館) ○幼稚園 ○子ども館 ○あのねっと ○少年保護育成委員会 ○ホワイトブック 	<ul style="list-style-type: none"> ○子供会が活動していない 		

政策1（4）次代を担う子どもの成長を支える学校教育

担い手・役割(資金・資源)	指標をめぐる活動・動き(意識)	新たな取組・より良い取組	めざす姿や状態、指標の推移
<ul style="list-style-type: none"> ○PTA活動 ○お父さんお母さんパワー ○退職された先生の活用 	<ul style="list-style-type: none"> ○先生と地域の交流が少ない ○地域の担当の先生、町内を回って下さい ○伝統芸能を教える 	<ul style="list-style-type: none"> ○親を良くする(親の教育) ○学校の先生、指導方法 ○学校の空き教室の活用 ○学校の開放 ○公民館事業を学校で? 	<ul style="list-style-type: none"> ○子どもがより良い環境で学ぶことができ、子どもの個性や能力が伸びること。 ○学校が地域の活動の場として開かれ、地域と連携した教育が進むこと。 ○子ども一人ひとりが命の大切さを学び、人との関わり方、社会との関わり方を身に付けられること。

政策1 (5) 子どもも大人も心と体の健康づくり

担い手・役割(資金・資源)	指標をめぐる活動・動き(意識)	新たな取組・より良い取組	めざす姿や状態、指標の推移
○市民	○自己管理 ○1. 2. 1. 2. ウォーキング(健康推進員) ○運動習慣 ○巡回健康健診(二ツ井) ○市民ウォーキング(能代) ○メタボ、減塩の食事指導(健康推進協議会) ○心の病 ○シンポジウム、キャンペーンに参加	○子ども中心の考え方 ○子どもを安心して産める体制	○普段から健康を意識して生活し、生涯を通して健康でいられること。 ○身近で悩みごとなどの相談ができ、心の健康が保たれること。
各種団体 ○民生委員 ○社協	○自治会、町内会健康推進員 ○調査・研究・相談窓口 ◎自死予防活動(保健センター、健康推進員、市民グループ)かなり進んでいる(成果はわからないが…) ○将来に対する不安→自殺増?	◎なぜこの地域はがんが多いのか、調査研究	
○事業者	○職場の環境 ○職場の心の健康 ○定期健康診断	○医療 ○心の健康=引きこもりをなくす=地域で見守る	
○行政機関	○情報提供 ○健康教室 ○心の健康ネットワーク ○団体数?人数? ○庁内検討会議発足 ○滞納者などへのアプローチ	◎一人暮らしの高齢者に日常的コンタクト(自治会、老人クラブ、社協) ○⇒安心感(不安を取り除く) ⇒心の健康⇒自死減少、身体の健康	

政策1 (6) 地域で活躍する元気な高齢者

担い手・役割(資金・資源)	指標をめぐる活動・動き(意識)	新たな取組・より良い取組	めざす姿や状態、指標の推移
○市民	◎日常的な交流 ◎能力、技術を生かした活動 ◎地域や社会との関わり ◎独居老人が増えている ◎閉じこもりをいかに防ぐか	○高齢者にいかに働きかけるか? 広報	○高齢になっても住み慣れた家庭や地域で、健康でいきいきと自立した生活ができること。
各種団体 ○民生委員 ○自治会・町内会 ○老人クラブ ○シルバー人材センター ○社協	○仕事をする老人クラブが必要? ○生きがいとしての仕事 ○地域の先生として活躍してもらおう ◎いきいきサロン(社協) ・27団体 ・精神障害者2団体 ・子育て1団体 ○子育て中の親→高齢者	○老人クラブの活動の活発化	○高齢者が培った知識と経験を生かして、社会的な役割を持ち、生きがいや地域の活力につながる事。 ○地域住民やボランティアなどとの交流やその支援が、高齢者の自立を支えること。
事業者等 ○社協 ○シルバー人材センター ○介護事業者	○活動の場の確保 ○継続雇用 ○サービス提供 ◎弁当宅配、買物サービス(代行) ○カタログ販売	○ご用聞き ○訪問介護	
行政機関 ○特養待機者がまだ多い ○実態の把握 ○認知症への対応がまだ不十分	○活躍できる環境 ○支援団体育成 ○相談体制 ○包括支援センターの周知 ◎青空デイサービス～休耕地で農作業を ○食料自給率の向上を ○食の安全	○「農」だけでない切口? ○働ける喜び→生きがい ○市民プラザで売る	

政策1 (7) 地域で社会で自立する障害者

担い手・役割(資金・資源)	指標をめぐる活動・動き(意識)	新たな取組・より良い取組	めざす姿や状態、指標の推移
<p>市民</p> <ul style="list-style-type: none"> ○市民全員 ○健全者との交流が多い ○他市町村より行政の関わりが少ない(障害者団体への) 	<ul style="list-style-type: none"> ○参加者が減少している(問題点) ○行事に障害者が参加しやすくなった ○ボランティアが障害者のためにどのような活動をしているか? <li style="padding-left: 20px;">①ひまわり号 <li style="padding-left: 20px;">②しのめ祭り(養護学校) <li style="padding-left: 20px;">③であいコンサート ○手話サークル会議等に参加している、研修している ○ノーマライゼーションの意識 ○個性や能力を生かした活動 ○積極的に関わる(社会や地域) ◎収入源になる仕事がある ○仕事に対しての賃金がもらえる ○障害者が喜んで出来る仕事がある ○就労の状況がわからない ◎青空デイサービスの障害者用 ◎長く続く仕事 ◎授産施設で ◎農業の可能性は ○地域間交流が少ない(障害者団体) 	<ul style="list-style-type: none"> ○福祉大会など障害者の集まる大会 ◎障害者団体組織の再構築が必要 ◎若い会員の組織、参加を推進する ◎障害者団体の洗い直し ◎最近(経済不況)特に低迷している ○分野毎の交流が少ない(障害者団体) 	<ul style="list-style-type: none"> ○障害があっても住み慣れた家庭や地域で、生きがいを持って自立した生活ができること。 ○障害者が個性や能力を生かして社会参加できること。 ○地域住民やボランティアなどとの交流やその支援が、障害者の自立を支えること。
<p>各種団体</p> <ul style="list-style-type: none"> ○団体活動が活発(障害分野毎) ○プライバシーの問題 ○障害者自身 	<ul style="list-style-type: none"> ○障害の種類に応じた支援 ○障害を生じさせない為の予防と対策 ○障害者の就労、支援と環境 ○障害を持っている人にも趣味を見つけてあげる ○トライアングル、よく活用されているか? 	<ul style="list-style-type: none"> ○どこにでも自由に行ける ○まちにいてトイレの心配がない ○障害者トイレ少ない、車椅子、手摺り ○道路に段差がない、段差がまだ多い ○手摺りの取り付けやバリアフリー ○道路上の点字ブロックにいたみがあって、盲人が外出する時、不安に思う ○車椅子専用駐車場の場所に健全者が車を停めている 	
<p>事業者等</p> <ul style="list-style-type: none"> ○学校を地域住民が利用する 	<ul style="list-style-type: none"> ○雇用の取組 ○就労できる職場づくり ○個性、能力を生かす環境づくり ○ペットボトルの回収事業→障害者の雇用 ○自立支援をする ○相談活動、デイサービス 	<ul style="list-style-type: none"> ○障害の種類による違い→身体、知的、精神 	
<p>○行政(全庁体制)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○障害者計画 ○公共団体での障害者雇用率の確保→市役所は達成している ○病気になっても安心 ○相談しやすい病院がある 		

政策1 (8) ふるさとの誇りを受け継ぐ文化・芸術

担い手・役割(資金・資源)	指標をめぐる活動・動き(意識)	新たな取組・より良い取組	めざす姿や状態、指標の推移
<ul style="list-style-type: none"> ○小・中学校 ○婦人会 ○老人クラブ 	<ul style="list-style-type: none"> ○崇徳小学校、竹生小学校に指導にしております、学習発表会に出演している ○婦人会～奴踊り ○盆踊り～老人クラブ ○子供達が年々少なくなっている、継承が難しい ○青年達に芸能に興味を持ってもらいたい 	<ul style="list-style-type: none"> ○桧山地区の人の意識をアップしたい ○崇徳小学校学習発表会目指して行っている、継続していく ○鳥形では婦人部も参加させたい 	<ul style="list-style-type: none"> ○民俗芸能や民俗行事などを通じて、世代間交流が進み、地域住民の結びつきが深まること。 ○文化・芸術の活発な活動により、人の心が豊かになること。 ○地域の歴史や文化への理解が深まり、地域に愛着や誇りを持つこと。
<ul style="list-style-type: none"> ○地域住民 ○郷土芸能保存会 <ul style="list-style-type: none"> ・ 桧山舞保存会 ・ 鳥形獅子踊り保存会 ・ 道地ささら保存会 	<ul style="list-style-type: none"> ○桧山舞保存会員、有志で月数回行う ○老人施設の慰問 ○一部落の芸能が桧山地区全体に知られるようになる ○年間行事、能代(旧)ニツ井で開催 ○お盆の伝統行事実施 ○夏期中に子供へ指導 	<ul style="list-style-type: none"> ○現活動を更に持続したい ○郷土芸能、発表機会を多くする ○団体同士が連携して親睦と向上をはかりたい 	
<ul style="list-style-type: none"> ○行政 <ul style="list-style-type: none"> ・ 市の補助 ・ 県の補助 ・ 国の補助 ○生命保険会社助成制度 ○公演御芳志 ○NPO法人能代市芸術文化協会(45団体620名、個人6名) ○自主学習グループ(公民館) 	<ul style="list-style-type: none"> ○公民館祭(発表の場) ○文化会館運營業務 <ol style="list-style-type: none"> 1. 鑑賞型事業 2. 市民参加型事業 <ul style="list-style-type: none"> ・ みんなで歌うコンサート ・ ロビーコンサート 3. 会館利用働きかけ ○1より、友の会会員の参加で公演事業実施 ○芸術文化の発展向上を目指す <ul style="list-style-type: none"> ・ 市民芸術文化祭 ・ 展示発表会 ・ 文化フェスティバル ・ 能代ミュージカル ・ 能代ミュージカルキッズ 	<ul style="list-style-type: none"> ○自主学習グループの芸文協への参加を呼びかける ○若い世代に芸術文化に関心を持ってもらえるような事業は? ○コーディネーター付き、団体間の連携を強める ○団体同士で市民活動に取り組む ○ライブの出来る会場がほしい ○地域貢献しやすい環境を整える 	
<ul style="list-style-type: none"> ○学校教育、先生 ○文化財保護協会 ○桧山周辺歴史ガイドの会 ○地域づくり支援係、市、行政 	<ul style="list-style-type: none"> ○研修を深めている歴史ガイド ○歴史・観光パンフレットの作成 ○案内標識の作成・設置 ○一般的に歴史について市民の関心がうすいのでは? ○桧山地域拠点施設早期完成 	<ul style="list-style-type: none"> ○PR活動の充実を図る ○魅力的なパンフ作りする ○史跡公園の発掘を進めてほしい ○水洗トイレの完備(山城に)史跡公園 ○案内人の集合場所(依頼人への連絡)仮拠点施設 ○活動の充実を図るため <ul style="list-style-type: none"> ・ 若い人を募る ・ 連絡所の設置 ・ 見学者のためのトイレ設備 ○スクリーンやプロジェクターなど視聴覚設備の充実 ○歴史のふる里としての桧山の歴史について市民への周知を図る ○地域住民の関心を高め協力を得る ○歴史ガイドの活動の活発化 ○「桧山史跡周遊ウォーキング」 	<ul style="list-style-type: none"> ※目標指数に芸文協の加入人数

政策1 (9) だれもが気軽に楽しめるスポーツ

担い手・役割(資金・資源)	指標をめぐる活動・動き(意識)	新たな取組・より良い取組	めざす姿や状態、指標の推移
<ul style="list-style-type: none"> ○市民 ・勤労者趣味 ・メタボ医師のすすめ ・選手のトレーニング ○老人クラブ ○スポーツ少年団 	<ul style="list-style-type: none"> ○健康づくり、仲間づくり、体力向上 ○スポレクフェスタ ○歩こう会の実施 	<ul style="list-style-type: none"> ○だれでも参加できる環境づくりをする 	<ul style="list-style-type: none"> ○スポーツを気軽に楽しみ、健康づくりや体力づくり、仲間づくりができること。 ○スポーツに取り組める環境があり、競技力が向上すること。 ○スポーツイベントなどを通じて、バスケの街として誇りが高まること。
<ul style="list-style-type: none"> ○市、行政 ○資金として ・市から委託金 ・参加者から ○総合型地域スポーツクラブ(二ツ井・常盤) ○体育施設 ○能代工業生徒会 ○能代バスケットボール協会 ○バスケサポーターズのしる事務局 	<ul style="list-style-type: none"> ○二ツ井きみまちマラソン ○みんなのバスケ ○能代カップ ○公園にあるバスケの利用は下火 ○健康フリースロー大会(自治会) ○JR駅でもバスケを宣伝 	<ul style="list-style-type: none"> ○各行事の市民へのPRの充実 ○スポーツの継続 ○教室等の周知PR ○バスケリングの総点検をする ○底辺の拡大 	
<ul style="list-style-type: none"> ○能代市体協 ○スポーツマネージャー、インストラクター、指導者 	<ul style="list-style-type: none"> ○スポーツ教室の開催 ○フリースペース講座 ○陸上競技場改修中 	<ul style="list-style-type: none"> ○多種多様な教室の開催 ○競技団体同士の交流 ○魅力ある企画 ○古い施設→老朽化はないか 	

政策1 (10) 認め合い支え合う社会づくり

担い手・役割(資金・資源)	指標をめぐる活動・動き(意識)	新たな取組・より良い取組	めざす姿や状態、指標の推移
<ul style="list-style-type: none"> ○日本語指導ボランティア(日本人) ○イベント、行事を通じた町内会、商店街の協力者 ○国際理解に興味のある子どもたち(高校生ボランティアなど) ○教育委員会 ・日本語指導ボランティア ・日本語指導者 ○市民活力推進課、行政担当 	<ul style="list-style-type: none"> ○イベント・行事(お花見、盆踊り、バス旅行、クリスマス会…) ○日本語指導を通じての異文化理解 ○外国人を特別視しない ○多文化共生を意識化したい ○指導者のレベルアップのための講座(すでに毎年開催している) 	<ul style="list-style-type: none"> ○町内会、商店街とタイアップしたイベント、行事の開催、(日本語盆おどり)協力してほしい ○子育て支援との連携⇄保育所、幼稚園、学校関係 ○お茶、書道、生け花、芸文協の方の協力を得て、本物の日本文化に触れる機会を作っている ○増えている外国人の子ども達のための日本語、教科指導の場 ○教育、病院、生活のすべて、心配事や相談など安心できる窓口の設置 	<ul style="list-style-type: none"> ○性別や国籍などにかかわらず、一人ひとりの個性や能力を発揮できること。 ○人権意識や平和意識が浸透すること。
<ul style="list-style-type: none"> ○男女共同参画推進委員会 ○人権擁護委員 ○保護司 ○FF推進委員、能代市では3人在 	<ul style="list-style-type: none"> ○研修の公募をしても応募者がいない ○60代~70代が多く若者は少ない受講者 ○男女共同参画に対する行政の力の入れ方がうすくなったのではないか ○女性公職参画状況、前年比微増 ○委員会審議会への女性の登用率が上がらない ○男女共同参画に関する意識は次第に高まっている ○予算がずいぶん減っている ○男女共同参画推進都市宣言をすると聞いている ○意識の啓発をするためのアイディアがない ○講座が少ない ○DVの学習、高校生が学習している 	<ul style="list-style-type: none"> ○民間との協働 ○予算がなくとも工夫する ○予算の増額 ○個性を認める意識が低いので学校で道徳教育を ○継続が何よりも大事 ○キャッチコピーでPR活動をする ○都市宣言までの過程を大切に 	
<ul style="list-style-type: none"> ○公民館事業 	<ul style="list-style-type: none"> ○転勤奥様教室 ○男性料理教室 		

政策2（1）環境を核とした活力ある産業創出

担い手・役割(資金・資源)	指標をめぐる活動・動き(意識)	新たな取組・より良い取組	めざす姿や状態、指標の推移
市民 ○小掛地区	○空缶リサイクル ○ゼロライトの利活用	○ゼロライトの良さを数値で評価 ○ゼロライトの良さをPR	○地域資源の利活用により、産業の創出や関連企業の立地につながる事。 ○能代港の利活用により、地域に活気が出る事。
各種団体 ○ごみナビボランティア ○コンポスト見直し隊 ○食の環研究会 ◎⇔行政に資金（又は給与とか）を出してもらおう(全額でなくとも良い) 又はJAとか ○県立大学 ○木高研	○生ごみリサイクル ○花火大会のゴミの分別活動 ○コンポスト開発 ○杉のブローチ等の作成	◎物産展等、PR可能な場を増やす ◎⇔新能代うどん ・白神こうぼ ・製めん業者 ・商工会議所	
事業者等 ○バイオマス発電所 ○(株)能代港リサイクルセンター ◎産直グループ(連携)JA ◎⇔商工会・商工会議所とJA又は産直グループの連携 ◎⇔木産連等 ○銘木センター	○杉デスク ○保管倉庫の建設 ○発電、蒸気 ○風力発電 ○若者の職場が無い	◎⇔しらかみ微生物の活用(実用)(白神こうぼ)、しらかみ微生物の活用(研究) ○バイオトイレの開発(提案) ・杉チップの利用 ・白神山地の環境保全 ・山岳観光地の環境保全 ◎フォレストボード(杉の皮を利用した断熱材) ◎杉のフローリング、杉デスク	
行政機関 ○白神微生物研究会? ○若い人達に農業の理解を求める(農業に関係なく) ○自分でも生産する意味とかが感じる ○地域資源は豊富にある	○白神微生物の活用(うどん) ○農作物の加工施設が少ない ○企業の倒産 ○新たな企業進出? ○雇用環境は最悪の状態、見通しは暗い ○松原の保全 ・松くい虫の被害を北上させない取組 ○雇用の受け皿が少ない ○さみしい夜の能代の町 ○景気が後退しているので新たな企業立地が少ない ○ハローワークはもう少し説明を ○大きな会社の企業倒産 ○起業セミナーは他地域と合同で開催したほうが良い ○街の中に木が少ない ○木製品の商品化が進んでいない	◎バイオマス発電 ○荒地は整備し、後継者育成に自由に市場に出す ○能代港の利活用の会社? ○木高研、スギエキス? ○仲間が増える事を大いに期待したい、又、アイディアも出る ○産直のお店が人気のようだ ○ごみの分別が厳しくても良いと思う	

政策2（2）雇用を生み出す企業立地

担い手・役割(資金・資源)	指標をめぐる活動・動き(意識)	新たな取組・より良い取組	めざす姿や状態、指標の推移
○市民 各種団体 ○商工会 ○商工会議所 ○雇用開発協会 各事業者 ○秋田銀行 ◎(株)能代港リサイクルセンター ◎能代まちづくり合同会社 ◎ふるさと緊急雇用創出事業 行政機関 ○市 ○ハローワーク	○立地に対しての理解、協力 ○起業セミナーの実施 ○企業視察、工場見学 ○市の助成を利用して雇用創出 ○Biscom、企業交流会 ○起業への出資 ○職業訓練 ○融資の支援 ○中小企業緊急雇用安定助成事業 ○企業支援・雇用緊急対策本部の設置 ○雇用助成金	◎加工食品の開発研究(ネギ、うどん、米、みょうが、アスパラ) ◎農商工連携(提案) ○地元資源を利用した企業立地 ◎港の利用、杉の海外輸出(商工会議所) ○食品加工業 ○米粉の活用(提案) ○起業に対する支援制度の充実	○新たな企業立地や起業により、若い人を中心に雇用やチャレンジの機会が増える事。 ○企業誘致に関する情報が十分に企業に伝わり、企業立地につながる事。 ○地域と企業の連携により、雇用創出などの効果を発揮できる事。

政策2 (3) 力強く持続する農業

担い手・役割(資金・資源)	指標をめぐる活動・動き(意識)	新たな取組・より良い取組	めざす姿や状態、指標の推移
○市民 各種団体 ○白神微生物研究会 ○商工会 ○銀河連邦 (JA、ねぎっこ村)	○地元産の野菜を買う ○農家の高齢化 ○農家の担い手不足 ○地域産の弁当開発 ○食彩人の活動 ○加工工場が少ない ○素材は良い	○農地・家の貸し出し ○加工食品への利用拡大(乾燥ねぎなど) ○乾燥ねぎの開発で消費拡大 ◎しらかみねぎ・みょうがのブランド化、売先の開拓 ◎おにぎりごんべえ ○海外に輸出? (中国などへ) ○しらかみ微生物を利用し、うどん、ねぎの商品開発 ○農産物を地元で使ってもらおう工夫(学校給食)(提案) ○流城市町村、JA、農家、産直等の連携(提案)	○地元産の農産物や加工品の市場評価が高まり、産地として確立すること。 ○農業が魅力的な職業として成り立ち、若い人を中心に農業の担い手が増えること。 ○農業の生産性が高まり、経営の強化につながる事。 ○食の大切さへの理解が深まり、食育が浸透して実践につながる事。
事業者 ◎産直の店 ◎農家(生産者)	○どぶろく特区 ○担い手の不足 ○収入が少ない(安定していない) ○輸入材の導入(低コスト)	◎みょうが館 ◎農業の法人化 ○米(まい)ど、米中心 ○使い易い状態に加工する(カットなど) ○米飯の回数を増やしたい ○国・県の研究施設をもっと使う(付加価値) ○生産性の向上 ○生産者の収入安定 ○小さな機械で大量生産を目指す ○地元農産物の消費拡大(担い手確保のため)	
市 ○農業技術センター(市) ○土地 ○水	○トップセールスの実施 ○食育推進計画を策定中 ○ため池整備 ○学校給食で地元産の野菜 ○米飯給食の回数を増やす ○農業技術センターの技術者不足	○食育推進計画(市)	

政策2 (4) 山・川を生かす林業・木材産業・水産業

担い手・役割(資金・資源)	指標をめぐる活動・動き(意識)	新たな取組・より良い取組	めざす姿や状態、指標の推移
市民 ○風の松原をまもる市民、ボランティア大会 ◎各種団体 ◎木産連 ◎木高研 ◎森林組合 ○商工会、観光協会 ○大学	○山の手入れ(保全) ○うまくPRされていない ◎フォレストボード~杉の皮で作った断熱材、エコ商品 ○日本一の杉の木への観光ルート開発	○スギ以外の木でも良いのでもっと木を使う ◎杉デスク ○他の人が見て良いと思う木の使い方 ◎小さなバイオマス発電所(リスク分散) ◎ペレットストーブ普及 ◎秋住復活、旧二ツ井町の「きみまちハウスプラン」を能代に置き替える ○杉のパネル化(建材化) ◎公共施設を全部木造化に(国産材で) ○集材システム⇄ ◎⇒現地で製材加工(山の近くに工場設置) ○良い木 ○杉チップのバイオトイレ ◎←悪い木(何か提案) ○秋田スギの他県へのPR	○秋田スギの利用が進み、林業や木材産業の経営強化につながる事。 ○秋田スギの良さを伝え、木のまちとして、街なかにも木のぬくもりを感じられる事。 ○産学官が連携して調査や研究が進み、林業や木材産業の育成につながる事。 ○森林の手入れや保全により、水の貯留や浄化などの機能を維持でき、水産資源の持続的な利用につながる事。
◎事業者 ○バイオマス発電	○人件費が高い ○品質確認(乾燥)に手間がかかる(コストUP)	◎公共施設を全部木造化に(国産材で) ○集材システム⇄ ◎⇒現地で製材加工(山の近くに工場設置) ○良い木 ○杉チップのバイオトイレ ◎←悪い木(何か提案) ○秋田スギの他県へのPR	
行政 ○国 ○県 ○市 ○市民	◎ぬくもり事業補助金 ○各家々の松くい虫の駆除 ○松原の清掃	○木はたくさん有る ○上手に山からおろすシステム ○製品にならないもの	

政策2 (5) まちのにぎわいをつくり出す商業

担い手・役割(資金・資源)	指標をめぐる活動・動き(意識)	新たな取組・より良い取組	めざす姿や状態、指標の推移
○まちづくり合同会社		○市民プラザ ○仲間を集める ○能代のユルキャラ	○商店街に人が集まり、交流やにぎわいが生まれ、街に活気があること。
○高校生 ○金勇 ◎空き店舗の利用 ◎J A、生産者	○あきんどう(能代商業、能代西高)	○オアシス	○商店街や個店に特色があり、空き店舗の活用が進むこと。
	○直売所(みょうが館)、道の駅 ○ねぎっこ村 ○ときめき隊	○直売に参加したい農家 ◎中心部に直売所(産直)がほしい ◎駐車場がほしい ○常設店舗と商品の供給 ○消費者のニーズ・要望を聞いてほしい	○商店街と大型店の連携があり市外に出なくても買い物ができること。
○物産振興会	○振興会動きがある ○二ツ井地域ではイトクとベルに行く人が多い	○一店だけでなく近隣でセールをする ○商店街に人が集まる工夫が必要	
○商業協同組合 ・両商店会 ・プレミアム商品券 ・商工会商店会 ○市民	○年末年始大売出し ○モックンイベント(夏祭外) ○歩行者天国(夏祭り、花火、イベント)	○ポイントカードの取り扱いの明示 ○ポイントカードの利用方法、預金できる税金の支払い ○そこでなければ買えないものをそろえることが必要ではないか ○従業員の接客マナーの取組 ○ゆったり歩ける街	
◎商店会 ○商工会(市)補助 ○商店会(市)補助 ○商店街(自治会含む)	○ニーズに合わせた商売 ○能代ポイントカード ○シャッターアート ○カラー路側帯 ○2人掛ベンチの作成 ○ばんげ市、秋まつり ○賑わい(目標)→観光(大切)→一緒に ○全国展開支援事業 ○観光協会	○独自の発想 ○多種多様との協力 ○ウインドショッピング ○歩きたくなる魅力ある商店街には何が必要か ○人がやるのを待つのではなく自ら行動する ○旧商店街に以前のように人がいない	

政策2 (6) 豊かな自然とその恵みを活かす観光

担い手・役割(資金・資源)	指標をめぐる活動・動き(意識)	新たな取組・より良い取組	めざす姿や状態、指標の推移
◎観光協会(能代) ◎観光協会(二ツ井)	◎さくら祭、つつじ祭、紅葉祭 ○大型トイレ1億円 ○米代川をカヌーでくだる ○道の駅ふたつ ○カンジキツアー	○HP ○滞在型観光検討 ○各名所の看板の不足 ○米代川、あゆ、さくらます等	○観光による交流やにぎわいが生まれ、地域に活気があること。
○檜山ガイドの会 ○松原のガイド ○きみまち観光ガイドの会	○ガイド研修 ◎史跡めぐり ○北限の茶畑 ◎史跡、自然の探訪	○檜山ガイドしやすい環境整備 ○おいしいものを食べさせる店(昼食など) ◎宿泊施設～民宿、民泊、旧学校を利用した自炊できる宿泊 ◎観光ルートの開発	○豊かな自然や特色ある郷土料理など、地域資源の魅力により、来訪者の満足度が高まること。
○商工会議所 ○商工会 ○能代公園・風の松原 ○農家	○花火大会 ○おなごりフェスティバル ○全国展開支援事業(観光・食) ○きみまち地鶏鍋 ○民宿レストラン		○観光やイベントの宣伝ができていて、地域のイメージが高まること。
○県北観光案内所 ○J R ○旅行会社 ○バス会社 ○能代市 ○民俗芸能保存会	○定期観光(白神) ○滞在型観光検討(J R旅行社) ○J Rツアー外、ガイド研修 ○白神クルーズ ○きみまちマラソン ○松原マラソン ○郷土芸能発表会	○嫁見祭	
		○観光マップの作製 ○郷土の森、きみまち阪、七座、水沢の整備	

政策2（7）自然と共生し地域で支える環境保全

担い手・役割(資金・資源)	指標をめぐる活動・動き(意識)	新たな取組・より良い取組	めざす姿や状態、指標の推移
○国交省 ○ボランティア団体 ○松原ガイドの会 ○米代川を守る会 ○国・県・市	○堤防のクリーンアップ ○中川原堤防、桜づつみ ○クリーンアップ ○カン拾い ○地域の環境美化活動 ○農地水環境保全向上対策事業 ○草刈り	○身近な場所での観察会 ○地元の回収業者	○自然と親しみ、自然を通して人がふれあい、地域の財産として保全と活用ができること。 ○環境問題に対して適正に対処し、良好な環境を保全できること。 ○身近な環境や自然、エネルギーに関する理解が深まり、地域ぐるみの環境活動につながること。
○小友自然の会 ○黒松の会 ○風の松原に守られる人々の会 ○ルーペの会 ○二ツ井インターアクトクラブ ○能代清港会 ○二ツ井観光ガイドの会 ○檜山歴史ガイド ○二ツ井山の会 ○能代山の会 ○老人会 ○婦人会 ○町民 ○自治会 ○旧金勇ボランティア	○環境を守る活動 ○自然観察会 ○ガイド指導 ○国道の松のせん定 ○ニセアカシヤの駆除 ○山の清掃整備活動 ○松くい虫対策	○環境マップの製作 ○庭木の保存 ○ヤマメ・イワナの放流 ○河畔公園の整備 ○未利用地に花を植える	

政策2（8）資源を大切にし社会を持続できる衛生環境

担い手・役割(資金・資源)	指標をめぐる活動・動き(意識)	新たな取組・より良い取組	めざす姿や状態、指標の推移
○婦人会 ○主婦（夫） ○市民 ○学校 ○老人会	○ビン、アルミ缶集め ○マイバック運動 ○トレイ、牛乳パック、アルミ缶、ペットボトル等の回収 ○廃食油の回収 ○資源を大切にす指導、教育	○店のポイント制 ○ペレットストーブの普及 ○生ごみの堆肥化 ○コンポスト、ダンボールで堆肥・農家へ・民宿・	○普段の生活からごみの減量化や資源化が進むこと。 ○環境に対する意識が高まり、いつもまちがきれいであること。 ○生活上の衛生が保たれること。
○市役所 ○保健所 ○企業	○衛生指導 ○下水道の整備 ○上水道の整備	○ソーラー発電 ○バイオマス発電 ○風力発電 ○電気自動車の充電所の開設 ○電気自動車 ○ハイブリッドカー	
○スーパー、ショッピングセンター ○ゴミ収集業者 ○リサイクルショップ ○電気店 ○BDF精製業者	○ゴミの分別 ○資源の循環 ○電化製品の回収（リサイクル品） ○回収と販売	○BDFの一般化	

政策3 (1) 安全な暮らしを守る防災・防犯体制

担い手・役割(資金・資源)	指標をめぐる活動・動き(意識)	新たな取組・より良い取組	めざす姿や状態、指標の推移
<ul style="list-style-type: none"> ◎市役所、県、国、消防、住民等 ◎自治会、火防連、婦防、警察、消防 ◎役所、警察、消防 	<ul style="list-style-type: none"> ◎消防団員確保事業、協力事業所表示登録制度 (H20.3~6事業所) ◎日頃から定期的に防災訓練する ◎推進員制度 	<ul style="list-style-type: none"> ◎消防団員確保事業、協力事業報償金制度 ◎地域住民、事業所等一体となった協力体制 	<ul style="list-style-type: none"> ○普段から消防や防災、防犯の意識を持ち、犯罪やトラブルがなく、地域が安全で暮らしやすいこと。 ○安全に通行できる環境があり、交通安全の意識が浸透し、交通事故を防げること。 ○子どもや高齢者など弱い立場の人の被害を防げること。
<ul style="list-style-type: none"> ◎自治会、学生(小中高)、保護者 ◎各種団体、金融機関 	<ul style="list-style-type: none"> ◎一人暮らしや老夫婦が多くなっているため脆弱者がどこにいるのかわかっている ◎防災訓練等への参加 ◎災害時(水害)の緊急避難体制 ◎備蓄倉庫周知(場所、物資) ◎避難場所が支所によって違う同じ東能代なのに ◎日頃から隣り近所と仲良くしている(コミュニケーションをもっている) ◎水害時、建売業者の社員が宅地の周囲に土のうを積んでいた 	<ul style="list-style-type: none"> ◎普段から声かけ運動 ◎自分の住んでいる地域に危険なところがないかどうか点検する ◎災害時のそれぞれの役割(確認) ◎No.6 1~大きな災害が合ったので一時的に増加、各町内での話し合いが少ない ◎各地域ごとの小規模訓練を多くする 	
<ul style="list-style-type: none"> ◎各自治会で自分達の防災体制について話し合っているか ◎各団体(自分の住んでいる)の話し合いの輪がもたれている 	<ul style="list-style-type: none"> ◎救助物資がどこにあるのかわからない※防災訓練の時には準備してくれたが? ◎救命処置などの訓練、講習、AEDを含む 	<ul style="list-style-type: none"> ◎ハザードマップの作成(新たな) 	
<ul style="list-style-type: none"> ○学校、職場などの児童生徒、社会人 ○町内会の小学生及びその保護者 ○退職者及び高齢者等、比較的時間のある方 ○婦人会(交通安全母の会)結核予防婦人会 ○青少年育成能代市民会議 ○少年保護育成委員会 ○PTA ○サポート隊 	<ul style="list-style-type: none"> ○児童生徒の登下校時の見廻り ○高齢者、子どものいる家庭の世帯訪問(反射シールの配布等) ○青少年の健全育成と非行防止の為に巡回活動及び啓発活動 ○空家の防災対策、危険防止、犯罪防止 ○危険時駆け込み店舗及び住宅の拡大(駆け込み110番) ○小・中・高の駆け込み件数の拡大・連携 ○駆け込み110番の住宅の実態調査及び件数 ○下校時間帯の定期的巡視 ○空き家の調査確認 ○コンビニ店舗の活用率 ○振り込め詐欺防止、高額商品販売の防止 ○プライバシーや個人情報保護法等で一人暮らしの人すらわからない ○小学校に於いて交通安全教室を開催している ○ホームページ作成 		

政策3 (2) 機能的で利用しやすい道路・交通ネットワーク

担い手・役割(資金・資源)	指標をめぐる活動・動き(意識)	新たな取組・より良い取組	めざす姿や状態、指標の推移
<ul style="list-style-type: none"> ○市民 ○市役所 ○タクシー、バス会社 ○業者(民間)、病院、店舗、事業主 	<ul style="list-style-type: none"> ○利用者少ない(バス) ○市内巡回バスの利活用 	<ul style="list-style-type: none"> ○デマントバス(乗合タクシー)の研究 ○デマントバス(タクシー)等の利用アンケート ○利用者の確認、行先・利用のルート、目的 ○ショッピング、病院等、目的に応じたルート開発、依頼主が業者に委託、仕組みづくり、行政が橋渡し 	<ul style="list-style-type: none"> ○生活道路や歩道、排水路などの生活基盤が整っていて、安全で快適に暮らせること。 ○除排雪などに地域住民やボランティアなどの協力態勢が整っていて、季節を問わず安全に通行できること。 ○路線バスなどの交通手段が整っていて、快適に移動できること。
<ul style="list-style-type: none"> ○町内会、ボランティアグループ ○社会福祉協議会 ○民間除排雪業者 ○PTA、自治会(町内会) ○国、県、市 ○融雪歩道の整備 ○学校 ○道路、延長、改良 	<ul style="list-style-type: none"> ○独居老人宅の冬期除排雪 ○排雪場所の確保 ○除排雪の困難な家庭の除排雪 ○通学路除排雪 ○除排雪機械の貸し出し 	<ul style="list-style-type: none"> ○除雪ボランティアの拡大(有償化) ○排雪場所の清掃(雪融後) ○継続的に出来るようにPR、働きかけ ○中高生の除雪ボランティア活用 ○自転車走行ラインの確保(専用) 	
	<ul style="list-style-type: none"> ○市道の舗装 ○植樹マスの草刈り ○側溝の泥揚げ ○草刈り 		

政策3 (3) 効果的で調和のとれた土地利用

担い手・役割(資金・資源)	指標をめぐる活動・動き(意識)	新たな取組・より良い取組	めざす姿や状態、指標の推移
<ul style="list-style-type: none"> ○土地所有者 ○建物所有者 	<ul style="list-style-type: none"> ○土地の流動性、極めて悪化 ○畠町空店舗は雨もり家屋が多く、賃貸借不可物件多数 ○畠町、柳町、空き店舗率悪化、特に畠町 ○資産デフレ、大不況、市民の絶望感 ○シャッターアートの作成 		<ul style="list-style-type: none"> ○それぞれの地域が持つ資源や特性、整備された生活基盤が活用され、この地域に合った良好な都市形成が進むこと。 ○定住人口や交流人口の確保により、中心市街地に活気があること。
<ul style="list-style-type: none"> ○まちづくり団体 ○JAの中のグループ ○学生(高校生) ○まちづくり会社 ○地元農家 	<ul style="list-style-type: none"> ○能商のあきんどう、西高のチャレンジショップなど、高校生のがんばりに感謝 ○空店舗の利活用 ○産直 ○イベントの実施 	<ul style="list-style-type: none"> ○青空デイサービスの拡張 ○遊休地の利活用 ○防災上の保全(避難地) 	
<ul style="list-style-type: none"> ○市、県、国 	<ul style="list-style-type: none"> ○市の空店舗助成金は不十分(助成金の交付、時期等) 	<ul style="list-style-type: none"> ○都市計画の見直し(用途地域等) ○間伐ボランティア、土地の保全 ○広葉樹(保水) ○防火帯 	

政策3 (4) 快適で暮らしやすい住環境

担い手・役割(資金・資源)	指標をめぐる活動・動き(意識)	新たな取組・より良い取組	めざす姿や状態、指標の推移
<ul style="list-style-type: none"> ○市民 ○町内会・自治会 	<ul style="list-style-type: none"> ○整備した水道への積極的加入 ○生活排水処理、加入努力 ○西高で行っている地域が花いっぱい活動、この輪が広まってくれば嬉しいです ○地元公園の清掃(草取り) ○結核予防の為、ハンセン病援護の為、複十字シール購入運動へ参加(一人100円以上) 	<ul style="list-style-type: none"> ○メリットのPR、衛生、安全 	<ul style="list-style-type: none"> ○飲用水の確保や生活排水の処理などにより、衛生的で快適な生活環境になること。 ○情報通信技術を利用できる環境になること。 ○安らぎのある憩いの場として、公園や広場などを安心して利用できること。
<ul style="list-style-type: none"> ○住宅供給業者 ○建物ビル等所有者 ○通信事業者 ○事業所 ○市・県 	<ul style="list-style-type: none"> ○生活排水処理、加入努力促進 ○通信事業者への整備促進、活動、支援 ○水道計画に沿って推進 ○生活排水処理構想 ○水道整備、苦慮している地域 ○なえ、たねの配布を増やす 	<ul style="list-style-type: none"> ○皆で支えるための意識を持たせる→経営が成り立つように→負担軽減 ○水道組合意識改革 ○二ツ井地区簡易水道計画 	

政策3 (5) 安心でき健康を保てる医療体制

担い手・役割(資金・資源)	指標をめぐる活動・動き(意識)	新たな取組・より良い取組	めざす姿や状態、指標の推移
◎病院 ◎診療所 ○薬局	○産科が組合病院だけになった ◎医師、薬剤師、看護師不足 ◎医師不足(勤務医)対策 ◎救急医療体制の疲弊 ◎お薬手帳の利用促進 ○かかりつけ薬局の定義が明確でない	◎病院と診療所の連携促進 ○⇒夜間休日救急センターを ○地方にも最先端医療を(施設、医師) ○社会保険病院の存続運動 ○お薬手帳の啓蒙	○身近にかかりつけ医がいて、気軽に相談でき、必要なときに必要なサービスや高度な医療を受けられること。 ○身近にできる救急技能や献血などが、地域医療を支えること。
◎患者 ◎市民 ○行政 ○保険者	○コンビニ受診を控えて欲しい	◎医師を守る市民運動 ◎市民の意識改革運動 ○健(検)診事業の強化 ○休日救急センターの設置 ○(能代市が)平均余命が短い、原因調査(がん、脳卒中等)	

政策3 (6) 不安のない生活を支える社会保障制度

担い手・役割(資金・資源)	指標をめぐる活動・動き(意識)	新たな取組・より良い取組	めざす姿や状態、指標の推移
○国(施策のあり方) ◎市、行政 ○事業者	◎介護・医療に関する情報 ◎情報が多様・複雑 ◎⇒分かりやすい情報提供 ○特養入所待機者の解消 ○グループホームのあり方 ○ケアマネの資質向上 ○介護職員の処遇改善	◎よろず相談の窓口 ◎⇒介護保険事業の適切な運営 ○地域包括支援センター(相談所)を増やす ○センターを市役所の中、又は近くに設置する	○社会保障制度が整っていて、安心して日常生活を送れること。 ○介護などが必要になったときに、必要なサービスや援助を受けられること。
○市民 ○NPO ○ボランティア			

政策3 (7) 効率的で住民サービスに資する行財政基盤

担い手・役割(資金・資源)	指標をめぐる活動・動き(意識)	新たな取組・より良い取組	めざす姿や状態、指標の推移
◎市 ◎市民	○権限委譲などで仕事は減らないのに市職員は減らさないといけない ○景気の後退により市税が減っている ○職員の能力の向上	◎行財政改革の推進と情報の提供 ◎←市民参加を得ながら ○県と協同した収納対策 ○ふるさと納税を呼びかける ○指定管理者制度の拡大、民間委託	○職員の能力を生かし、効率的な事務処理や適正な個人情報管理などにより、行政の信頼度が高いこと。 ○受益と負担の関係が公平であり、市税をはじめ収入を確保できるなど、将来にわたって行財政運営を持続できること。 ○国・県や大学、民間企業などとの連携や、他の地域との広域的な協力により、地域の課題が解決できること。 ○財政状況や契約状況など、行政情報の透明性が高いこと。
○NPOなど各種団体 ○企業			